

地方通信



關東地方

千葉縣下外房賀茂川橋開通式舉行

千葉縣安房郡鴨川町、賀茂川橋は長さ七

八・三米有効幅員六米ガルバー式鐵筋コン

クリートの莊麗な橋で總工費三萬七千五百圓を以て昨十二年六月起工し六月三日竣工し同七日開通式を舉行したが同地方に異彩を放つこととなつた。

神奈川縣本鄉橋成る

神奈川縣下大磯在國府村地内國道一號線

路改良工事中の本郷橋の長さ二六米幅員一
一米コンクリート三ピーヤの架橋工事は昨
十二年十二月着工したが今回愈々落成し
た。

東海地方

愛知縣下道路鋪裝の急工事

名古屋市内の代表的惡道路との稱ある千
早と吹上間八百八十二米半の道路は失業應
急事業として市に於て其の鋪裝工事に着手
したが來八月中には完成の見込である。

近畿地方

大阪府下道路改良施工

大阪府泉南郡佐野町では多年懸案の道路

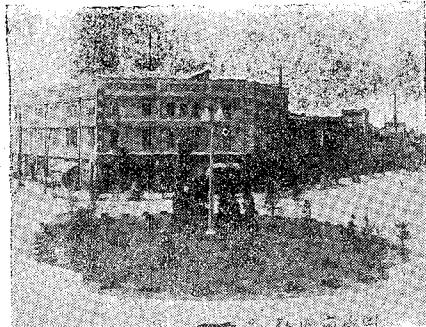
總計畫の實現を急いでゐたがいよいよ六萬
五千圓を投じ第一期事業に着手すること
なり此頃野出→西出線の幅員四メートル、
延長千二百八十メートルに着工、ついでて
新町→野出線幅員八メートル、延長千八十
メートルの工事にとりかゝり本年度中に完
成する豫定である。同線は同町を縱貫する
たゞ一本の孝子街道に並行海岸線を走る產
業的重要路線となるわけである。

中國地方

地方通信

岡山縣下の道路鋪裝工事 竣工

國道二號線中岡山市倉敷市間一六秆の道路は去る昭和六年から同十二年に亘り内務省直轄及岡山市都市計画區劃整理組合で改築せられ面目全く一新して運輸開通上甚だ便利を得るに至つた、けれども世の進歩は此の改築のみを以てしては到底満足せらず續



國道二號線改修起點

いて路面鋪装を要求して已まない、時恰も鐵道省で省營バス運行の計畫があるので機會に縣は鐵道省及地元と協議して工費二十萬五千餘圓三者の負擔で昭和十二年十一月鋪装に着手、七ヶ月を費し本年五月其の竣功を見るに至つた、坦々の如き鋪道は今や地方一般の歡喜の的となつて居り今後之が利用に依る文化産業の向上發展は期して待つべきである。

「鳥屋へ鋪道ノ一部」(岡山縣土木課)

吳三原兩市間道路ヲ國道ニ編入並改修要望

近時吳市の發展は躍進に躍進を重ね殊に今次事變に際し交通機關の擴充を叫びつゝある狀況に鑑み當局は各般に亘り研究考慮をなし、或は鐵道に港灣に自動車運輸事業等計畫をなしつゝありしも今同吳市三原市間の指定府縣道を國道に編入の上速に改修方に付猛運動を開始し水野市長を夫々左の陳情書の主旨を以て當局に折衝を重ね

つゝあり、尙關係市町村も之の主旨に贊同し期成同盟會を組織すべく意向旺盛なるため應本管理課長は之を斡旋をなしつゝあり（廣島縣支部與分會）

指定府縣道國道編入ニ關スル件陳情書

指定府縣道吳三原間ハ事業上並ニ產業開發上重要ナル使命ヲ有スル道路ナルノミナラス國道タルノ資格ヲ具備スルニ依リ速ニ之ヲ國道ニ御編入ニ上改築方御急施相成度左ニ事由ヲ具シ沿道市町村長連署ノ上陳情仕候

理由

由來風光明媚ノ地トシテ全國ニ聞ニル吳三原兩都市間指定府縣道沿線一帶ハ所謂瀬戸内海ニ面シ各所ニ沃野存在スルト共ニ一衣帶水四國各地ト相對シ相互連絡スル幾多ノ良港ヲ抱擁シ隨テ之カ沿線ハ人口稠密產業旺盛ニシテ生產豐富ナルト共ニ景勝地ニ當ミ古跡亦不渺ルモノ有之候左レハ沿道ニハ人口既ニ二十五萬ヲ越ヘ最近一ヶ年二萬餘

ノ激増ヲ示シツ、アル軍都吳市ヲ始メ海軍
廣工廠ノ所在地トシテ現ニ人口三萬餘ヲ算

シ益々增加ノ傾向ヲ辿リツ、アル賀茂郡廣

村鐵工業ヲ以テ全國ニ名アル仁方町釀造業

ヲ以テ名アル川尻町、内海町、三津町、三

津口町、頃山陽舊居ノ古蹟トシテ名アリ且

近時重工業其他著シク勃興ノ竹原町、陸軍

ノ火工廠其他ノ軍事施設アル豐田郡忠海町

造船業ヲ以テ知ラレタル幸崎町、近時順ニ

人造綱糸セメント工業等ノ勃興ニ依リ市勢

躍進セル三原市ノ各市街地ヲ點綴シ此ノ間

ニ賀茂郡安登村、野呂村、中切村、早田原

村、豊田郡木谷村、吉名村、賀茂郡下野村

豊田郡大乘村ノ葡萄、枇杷、除蟲菊、食鹽

漁獲物等ノ特產物ヲ有スル各村ヲ綴謹シ以

テ全縣人家軒ヲ並フルヘ蓋シ他ニ多ク見サ

ル所ト信スルモノニ有之候而シテ以上ノ各

市町村ハ何レモ天然ノ良港ヲ抱擁シ海陸ニ

依ル貨物ノ集散極メテ莫大ナルモノアリ殊

ニ沿線ノ瀬戸内海ハ明媚ナル風光ノ眺望ヲ

地 方 通 信

擅ニセラル、ヲ以テ所謂觀光的價值ニ富ム

ト共ニ吳市、廣村ノ軍事上重要ナル地位ニ

在ルハ茲ニ贅言ヲ要セサル所ニ有之候左レ

ハ政府ハ疊ニ廣島吳間ノ國道ノ改良ヲ企圖

セラレ近ク之力開通ヲ見ントシ又吳市廣村

間ハ軍事國道トシテノ國道ノ新設ヲ見タル

ヲ以テ該軍事國道ヨリ分歧シ前顯ノ各市町

村ヲ貫ク現在ノ指定府県道ヲ國道ニ御編入

相成以テ廣島市ヨリ吳市經田三原市ニ至ル

間ヲ國道トナスヘ獨リ沿線各市町村ノ產業

發達ヲ助成スルノミカラス軍事上焦眉ノ急

ヲ要スルモノト痛感致候則チ現下國事多端

ノ折柄特ニ本件國道編入ニ付テ閣下ノ御明

鑑ニ憩フル所以ニ有之候

昭和十三年五月二十日

吳 市 長 水 野 基 次 郎

外 十 七 名

内務大臣末次信正閣下

德島縣道路の國勢調査施

行せんとす

徳島縣では道路の國勢調査とも云ふべき

交通調査は本年十月と明十四年五月の二回

に施行することとなつたがなほ縣ではこの

ため縣下全般にわたる調査でなく縣下各土

木出張所管内に一ヶ所づつ調査所を設けて

毎月一回主要幹線道路の交通量調査を行ひ

縣下交通状況を調査することとなつた。

徳島縣の道路愛護運動

汗の奉仕に輝く道路の標語を地でゆぐ徳

島縣鳴道の道路愛護運動のトップを切つた

徳島土木出張所管内一市二十一ヶ町村の道

路愛護労働奉仕作業は五月二十一日一齊に

實施された。この日青葉に風光る五月晴に

恵まれて各市町村とも道路愛護會員はじめ

男女青年團、小中學生らが早くは午前六時

ごろから出動して國縣道はじめ主要道路の

清掃、除草、修理、ベラス撒布暗渠の修理

などの作業を行ひ各地とも熱心な集團勤行

圖繪を描いて午後四時ごろまでには各町村とも豫定の作業を終つた。なほ當日勤労奉仕作業に出動した人員は全部で約二萬七千名に達し縣では迫經濟部長、木村土木課長らが作業を巡視したがこの國民精神總動員の主旨にのつとる道路愛護運動として縣民を關心せしめた。

高知縣下の一橋成る

高知縣香美郡夜須村地内の豊榮橋は高知德島線の重要な地點であるが昨十二年十月起工架替工事中の所此程極めて堅牢に竣工した。

高知縣道路改良工事の竣工
高知縣高知市内國縣道道路鋪裝工事並に桟橋通擴張工事は兼ねて施工中の處此程竣工を告げたので五月二十一日縣公會堂に於て盛大に舉行し關係功勞者山本輝美氏外八

氏を表彰した。

九州地方

明治三十三年鹿兒島港に最初の浚渫が行はれたのを第一期とし、第二期の擴張工事

に續いて昭和十年一月に起工された鹿兒島

港第三期工事はこのほど全工事を終り目下

出で鹽屋町に達する幅員實に十八メートル全部花崗岩で鋪装された全長一キロ八十分におぶ坦々たるブロードウエイである。重い荷物を滿載して泥濘に四苦八苦した馬車や荷車の姿が全く見られなくなつたから海岸の労働者に取つては『天國への道』である。

鹿兒島縣臨港道路鋪裝成る

小船溜中央卸賣市場横の陸地を掘り下

げた六千坪の海面、大小の發動船がもう一杯採み合つて賑やかなものだが、暴風の時

はれてゐる。縣及び市の負擔になる豫算は九十五萬三千圓に達し工事は陸上施設の整備と發展、鹿兒島の明粧の完成だけに港關係者の喜びは大したものだが工事の施行半

ばから早くも港の狹隘と大擴張が識者の間に叫ばれ始め色々研究が進められてゐるといふ際なので竣工式は舉行せぬことになつた、全工事の完成を祝して三年四ヶ月の日子を要した工事概要を見ると、

臨港道路 小舟町の阿蘇橋から錦江橋に

修船場(一千坪)等々鹿兒島港全般の整備事業は全部この第三期工事中のプログラムだつた。鋪装の兩側にならんだ二十餘の瀧西な街燈をみると鹿兒島の情緒を表現する和やかな存在として灯のともる日が今から期待されて居る。